

第 10 号

2014 年 9 月 9 日
(平成 26 年 9 月 9 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8333 奈良市中新屋町
23 番地 中江ビル 302 号室
あすなろ行政書士事務所内

たくさんのリクエストが舞い込んでいます！

ガイドや講師派遣要請を中心に

当会には、史跡のガイドや講演会への講師派遣など、さまざまなリクエストをいただいています。

10 月 28 日（火）からは、セブンカルチャークラブ（株式会社カルチャー）の「仏像散歩」をテーマとした現地探訪が始まります。

11 月 22 日（土）と 23 日（日）の「大和路まほろばツーデーオーク」では、ガイドマップ制作のほか講演の依頼があります。

以下、最近の当会の主な活動状況を紹介します。



講話の様子

パソコン講座・講師養成講座

「Power Point」などパソコンのスキルを磨いていただくため、また多くの講師派遣要請にお応えするため、パソコン講座と講師養成講座を企画しました。

パソコン講座は NPO 法人「電子自治体アドバイザークラブ」にお願いし、まずは 6 月 16 日（月）から全 10 回の講座を実施中です。



パソコン講座（第 1 回）の様子

講師養成講座は、6 月 14 日（土）および 8 月 3 日（日）に啓発グループのメンバーが講師となって開催しました。

両講座とも、今後も機会をとらえて継続開催してまいります。

ソムリエ対策講座を開催します

クラブツーリズム奈良旅行センターから依頼をいただき、平成 24 年より、奈良検定の対策講座を開催しています。24 年は 2 級、25 年は 2 級と 1 級の講座を実施しました。これらに加え今年からはソムリエの対策講座が始まります（9 月 14 日実施予定）。

これに備え、7 月 6 日（日）には検討会議、7 月 26 日（土）には現地案内（400 字問題対策）の下見を実施。講座の担当者は「1 人でも多くの合格者を出そう」と張り切っています。

JTB バスツアーの新企画検討会議

当会では JTB のツアーで「美仏めぐり」と「世界遺産バス」の

2 コースのガイドを担当し、好評を博しています。27 年度からの企画替えに備え、7 月 29 日（火）、検討会議を開催しました。これまで以上に奈良の魅力を満喫していただける新コースとすべく、実現に向け準備を進めています。



JTB との検討会議

奈良商工会議所で講話

奈良検定の主催者である奈良商工会議所から依頼をいただき、奈良検定の委員会にて、当会の活動について講話をしました。また 12 月 7 日（日）に実施される奈良検定 2 級の「認定支援セミナー」にも、当会から 4 人の講師を派遣します。

「社会への貢献」を念頭に

この会報紙では、再三「インプットからアウトプットへ舵を切ろう」とお願いしてまいりました。NPO の使命は、社会への貢献です。自分がそのために何ができるかを考え、行動していただきたいと思ひます。

（専務理事 鉄田 憲男）

会員紹介

私は中学まで信州で育ち、それ以降は岡山在住ですが、小学生の頃からの長い奈良ファンです。最初は小学3年生の秋。家族旅行で訪れた奈良公園で東大寺、興福寺の建築や仏像の素晴らしさに子供心にも感動したのです。特に東大寺法華堂の仏像群に圧倒されたのを覚えています。

その後も西ノ京、斑鳩、飛鳥と訪ねていくうちにすっかり奈良リピーターとなり、自室は奈良本や仏像の置物でいっぱいになっていきました。大学4年間は神戸に下宿したので奈良を歩くサークルにも所属。卒業と同時に岡山へ戻ってから、花の時期や寺社の特別公開等に

合わせて毎月のように奈良へ出かけていました。

そんな時に出会ったのが「奈良まほろばソムリエ検定」。2級と1級は楽しく順調に進みましたが、ソムリエ級はとても手が届きそうになく一度断念しました。数年のブランクの後やはりあきらめきれずに勉強を再開し、今年の第7回検定でソムリエ初挑戦。何とか念願の合格通知を手にすることが出来ました。

その後ソムリエの会に入会し、史跡等探訪サークルと記紀万葉サークルに参加させていただいています。今まで自力では行くのが難しかったエリアを見て歩くことや、地元 of 奈良の皆さんとの交流は大変

楽しく貴重なものとなっています。

そして毎回皆さんの知識の深さと幅広さに感心するばかりです。ソムリエになったことはまだほんの入り口。奈良は本当に奥が深いです。今年6月の五條の活動で私の奈良旅は155回目でしたが、これからも奈良通いは長く続いていくことでしょう。



(藤原 麻子)

講演講座グループ

交流グループに属していた「公民館講座サークル」を母体に、平成26年度から新しく「講演・講座グループ」が発足しました。ソムリエの会から外に向かって発信する活動にウェイトを置き、奈良の歴史・文化・観光に関する講演会や講座の開催を主たる活動として、会の存在感を広めたいと思います。

これまで定期的に活動してきた「公民館講座サークル」は奈良市内の三つの公民館を利用して、それぞれ内容を変えて講座を開いて来ました。中部公民館で毎月第2・4土曜日に、奈良ソムリエ検定への挑戦者の方が多く参加されるため「歴史講座」と称しての勉強会を開催しています。今回の検定でも1級やソムリエ合格者が高確率で出ました。勿論個人の努力が大きいのでしょ



講座の様子

うが、少しは役立ったと思います。また、“奈良をもっと楽しむ講座”の名称で、若草公民館で第2金曜日、講師独自のテーマで開催しています。(ソムリエの会のHPに3ヶ月ごとに案内掲載)、また、西部公民館では第4水曜日に、検定の過去問題を題材にしています。“奈良”を楽しく学んでいただこうとの思いです。この講座テーマや担当講師の蓄積が、今後講演・講座の財産になると思います。



講座の様子

年2回程度ガイドグループとのコラボ企画で、ウォーキングも実施しています。

そして著名講師による適宜の講演会の企画開催のみならず、他のグループと協調しながら将来の会の自前講師による講演会実施も視野に入れて活動をしてゆきたいと思っています。

これらの活動の支えとなるスタッフの募集も必要です。

(小野 哲朗)

特別企画・秋の大和路ガイドツアー 参加者大募集



ガイド風景（天武持統天皇陵）

おひとりでも気軽に参加できるガイドグループ主催のツアーです。10人前後を1グループとしてゆっくりとご案内します。会員の皆様のご参加をお待ちしています。お知り合いにも、ぜひおすすめください。

(A)飛鳥 — 明日香風に誘われて、歴代天皇ゆかりの地を巡る —

- ・10月5日(日)9時45分、近鉄橿原神宮前駅東口集合
- ・みどころ：豊浦宮跡、亀形石造物、高松塚古墳など

・参加費用：300円（お客様の入場料は別途必要）☆申込締切 9/25

(B)斑鳩 — 奈良街道から斑鳩三塔へ。飛鳥の諸仏拝観 —

・11月9日(日)9時30分、JR大和小泉駅集合

・みどころ：法起寺、法輪寺、法隆寺秘仏救世観音拝観

※解散後引き続き希望者を西院伽藍内もご案内

・参加費用：300円（お客様の社寺拝観料は別途必要）

☆申込締切 10/30

(C)山辺の道 — 天皇陵と物部氏の謎を訪ねる —

・11月22日(土)10時15分、JR柳本駅 集合

・みどころ：崇神陵、衾田陵、石上神宮

・参加費用：600円（長岳寺入山料を含む）☆申込締切 11/12

※詳細はホームページ

(<http://sguide81.blog.fc2.com/>)をご覧ください。

<お申込み>

○ホームページ

<http://sguide81.blog.fc2.com/>

「特別企画・お申込フォーム」から

○FAX 0742-90-1037

「特別企画・コース(A/B/C)」

と、参加者全員の氏名・住所・年齢・電話番号をご記入ください。(個人情報 は保険加入の目的以外に使用しません)

<お問合せ>

ホームページ、FAX、または電

話:080-9126-7063(平日10時~17時)

(安井 永)

それぞれの万葉集

吉野の自然詠の秀歌として島木赤彦に絶賛された三首の万葉歌について考えたい。

山部赤人の反歌二首と湯原王の歌で、私はこの三首の歌を同種の歌と理解していたが、それは間違っていたようである。先ず赤人の象山の歌である。

**み吉野の象山のまの木末にはここ
だも騒ぐ鳥の声かも**(巻6-924)

大きい景から小さい「木末」(枝先)へと、「の」の音を重ねて絞ってゆく事によって、心も自然の静寂の中に歩一歩ひそまってゆく。

次に吉野川の歌である。

**ぬばたまの夜のふけ行けば久木生ふ
る清き川原に千鳥しばなく**(巻6-925)

夜のしじまの中に、川音と千鳥の鳴

く声が聞こえる。研ぎ澄まされた静寂の中に時間が流れて行くのを感じる。まさに、この二首は島木赤彦が、「動中の静・静中の動、宇宙の寂寥境にいる。」と褒めるのも頷ける。

湯原王の歌である。

**吉野なる菜摘の川の川淀に鴨ぞ鳴く
なる山陰にして**(巻3-375)

この歌は、赤人の純粋な自然詠とは少し違うようであるが、歌の真意がよく分からない。しかし陰影を帯びた歌であることは解る。そこで万葉集で“淀む”とか“鴨”を詠った歌を検討してみる。

**初花の散るべきものを人言の繁きに
よりてよどむころかも**(巻4-630)

この場合のよどむは“ためらっている”と云う意味に使われている。

**百伝ふ磐余の池に鳴く鴨を今日のみ
みてや雲隠りなむ**(巻3-416)

この場合の鴨は嘆きの鳥として詠われている。これらを総合的に考えると「吉野の菜摘川の山陰で孤独にためらいがちに鴨が鳴いている」と解釈できる。正にそれは湯原王の嘆きではなかったか。これは、赤人の上記二首の純粋な自然詠とは違う。深い孤独な内面の心情を詠ったものと考え、この歌の意味が漸く理解出来た。



(富田 良一)

花だより

9月 明日香村の彼岸花



秋の彼岸の頃になると、明日香村や葛城古道で、黄金色に変わった田の畔に突然現れる真っ赤な花はドキッとさせる美しさ。

曼珠沙華という別名は、サンスクリット語で天界に咲く花という意味で、仏典ではおめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくる、といわれます。

10月 元興寺の萩



万葉集で詠まれた花を数えると、一番多いのが萩、次が梅、松の順。プロポーズする牡鹿の鳴き声との組み合わせで多く詠まれています。

日本在来の萩は、最も身近な花で秋の七草の一つです。萩の寺として知られるのは、元興寺、白毫寺、円成寺など、赤や白の小さな花が集まって咲き乱れます。

11月 壺阪寺の紅葉



秋が深まり気温が下がってくるとカエデやイチョウなどが色づいて、野や山が錦のように美しく変化します。モミジの名所といえば、正暦寺、談山神社など。

戒長寺、門僕神社、安楽寺、観音寺の、葉の上で実を結ぶお葉つきイチョウは、県の天然記念物に指定されています。(石田 一雄)

広報グループからのお願い



ホームページ

広報グループの主な仕事は、「年4回の会報紙の編集」、「ホームページの運営と歳時記の記事提供」、「産経新聞連載のなら再発見の記事管理」、「今奈良.jp (豆知識)の記事管理」があります。ホームページ (HP) は、ソムリエの会の広告媒体・伝達媒体です。皆さんへの情報提供や各グ

ループのイベント告知としての「お知らせ」、活動報告としての「つれづれ日記」、産経新聞の「なら再発見」、四季折々の歳時記、定款・組織図など、ぜひご覧ください。パソコンの技術や雑誌の編集などの経験をお持ちの方、広報に興味のある方、参加をお待ちしています。(豊田 敏雄)

<編集後記>

「ソムリエの風」もついに10号となりました。「ソムリエの風」は、会員のみなさまの原稿で成り立っております。みなさまからの楽しい原稿をお待ちしております。

編集に当たった広報グループメンバーは以下のとおりです。(あいうえお順)

秋山・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田(敏)・辰馬・永井・中村・橋口・廣岡・二上・松森・吉川・米山



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8333 奈良市中新屋町23番地 中江ビル302号室

あすなる行政書士事務所内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記 (ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード